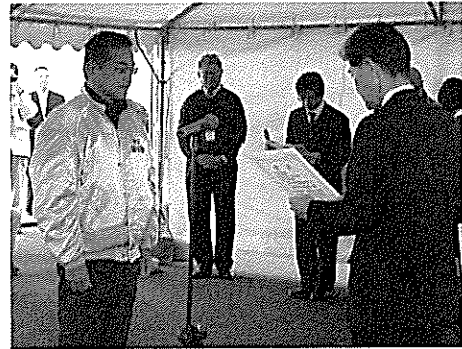


第91回静岡県畜産共進会開催、大臣賞はすぎ牧場、浜松ハムが購買

静岡県最大の共進会である第91回静岡県畜産共進会(肉牛の部)が12月2日、浜松食肉市場で盛大に開催された。

出品牛110頭(第1部Ⅱ交雑種46頭、第2部Ⅱ黒毛和種雌40頭、第3部Ⅱ黒毛和種去勢24頭)の中から、農林水産大臣賞には御前崎市の(株)すぎ牧場(写真左)が出品した黒毛和種去勢牛(A5、枝肉重量Ⅱ587・4kg、BMS No.12)が輝き3連覇を達成、浜松ハム(株)が単価5003円で落札した。



また、県知事賞には浜松市の太田紀美さん出品の黒毛和種雌牛(A5、432・0kg、BMS No.12)が選ばれ、こちらも浜松ハム(株)が単価5047円で落札。交雑種の部最優秀賞には静岡市の勝山建三さん出品の去勢牛(A5、567・6kg、BMS No.9)が選ばれ、(株)花城ミートサプライが単価2778円で落札した。

せりに先だち行われた褒章授与式では、加藤敦啓会長(静岡経済連代表理事)が「畜産の取り巻く情勢をみると、酪農経営においての後継者不足、肉牛肥育経営においては、高値で導入した素牛・スモールの肉用牛出荷時期と枝肉価格の軟化も重なり、畜産経営は圧迫している。政府は、守りから攻めの農業に転換するとして、クラスター事業を中心に政策を実施しているが、JAGグループとしては、財源確保を含めて万全な対策を引き続き申請したい」とあいさつ。

次いで、公益(株)全国和牛登録協会の池田和徳参与が審査講評を行い、「交雑種の第1部、黒毛和種雌の第2部、黒毛和種去勢の第3部と全体をみても、枝肉重量の成績は充実していた。また、肉質においても最高ランクのBMS No.12が9頭出ており、非常にレベルの高いものだった」と評価した。なお、各部優秀賞牛1席の出品者、購買者および単価は次のとおり。

第1部Ⅱ石田明さん(湖西市)、浜松ハム(株)、2112円▽第2部Ⅱ関伸二郎さん(浜松市)、ニクセン(株)、3300円▽第3部Ⅱ清水義雄さん(御前崎市)、マルマツ食品(株)、3097円。

アギリス・ワンをと畜業と食肉処理業でHACCPチャレンジ事業

厚労省は1日、ミートコンパニオングループの(株)アギリス・ワン(と畜業・牛枝肉・豚枝肉および食肉処理業・牛肉)をHACCPチャレンジ事業自主点検実施事業者に認定したと発表した。